

がん化学療法指示書

登録番号 262
作成日 2020/10/14

レジメン名	CBDCA+VP-16+デュルバルマブ療法
診療科・対象疾患	(呼)進展型小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
イミフィンジ	デュルバルマブ	1500mg	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5~6	Day1
エトポシド	エトポシド	80~100mg/m ²	Day1~3

治療内容	投与経路	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール						
								day1	day2	day3	day21	
注射		Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保用	●						
		Rp2		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●						
				デキサート(6.6mg)	1瓶									
		Rp3		生理食塩液	250mL	60分	点滴静注メイン	●						
				癌 イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500mg									
		Rp4		生理食塩液	50mL	15分	点滴静注メイン・経過観察用	●						
		Rp5		生理食塩液	250mL	60分	点滴静注メイン	●						
				癌 エトポシド	80mg/m²									
		Rp6		生理食塩液	250mL	60分	点滴静注メイン	●						
				癌 カルボプラチン	AUC=5									
	内服													
その他必要薬剤		・アプレピタント(125mg):1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント(80mg):1cap分1 朝食後に内服(day2,3)												
総投与時間	Day1:3時間30分、Day2, 3:1時間15分													
血管外漏出リスク	イミフィンジ(デュルバルマブ):不明 カルボプラチン:炎症性抗がん剤 エトポシド:炎症性抗がん剤													
投与時の注意事項	・イミフィンジ(デュルバルマブ)はフィルター付ルートで投与する ・Grade1~2のインフュージョンリアクションが生じた場合は次コースからアセトアミノフェンや抗ヒスタミン薬の前投薬を検討する ・Grade2のインフュージョンリアクションの場合は、次の投与を初回投与の50%の速度で点滴を行う 【インフュージョンリアクション経験例の前処置処方例】 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠													
備考欄														